

- 一、三百刈 在所石町 全前
 - 一、百 刈 在所養保南内 須賀慶次郎平兼隆在判友松名内梅町
 - 一、四百三十刈 在所本文書 比丘尼性詔寄進
 - 一、二百二十刈 在崎松崎藤三郎作 全前
 - 一、二百刈 在所本文書 全
 - 一、四 反 在所本文書 比丘尼本詔寄進
 - 一、一 反 在所本文書 全前
- 長圓寺分
- 一、五 段 在所浦上村内 沙彌芝叟寄進
 - 一、二 反 在所瀬上前塚田 同前
 - 一、五十刈 在所長江村内 二郎左衛門入道玉阿
- 在判惣持前任大徹和尚塔頭覺皇院田
- 一、五段五 在所荒志 長谷沙彌義印在判
- 處々寺領當知行雖無相違候、所仰願以案堵御書爲未代之龜鏡也。

(第二通は年次不詳なれどもこゝに合叙す。)

八月十日。足利義滿、狩野忠家に、江沼郡菅浪郷

地頭公文兩職及び菅生社神主職を安堵せしむ。

【狩野文書】

(足利義滿御判)

六三三

加賀國福田庄内菅浪郷地頭公文兩職、并菅生社神主職事、任相傳、狩野加賀守忠家可令領掌之狀如件。

永徳二年八月十日

(狩野忠家は、元弘三年六月廿五日の條に見えたる狩野頼廣の後なるべし。)

八月。通幻寂靈、鳳至郡總持寺佛殿の造立目錄を注す。

【總持寺文書】

(卷目上) 鳳至郡

六三四

惣持寺佛殿造立目錄

諸嶽山總持寺佛殿鏡立礎居立柱上梁上棟日記

康暦二年^{庚申}二月廿二日辰時鏡立祿物五貫文

同四月廿二日辰時礎居立柱祿物拾貫文

同六月廿六日辰時上梁祿物□貫文

永徳三年^{壬戌}八月廿三日辰時上棟、大工玄鑿子息彦三郎任左衛門大夫、取幣棟拜後引物衣一帖、次銀劔一腰、次鞍置馬一疋駿馬一疋、次小工鞍置馬一疋、番匠十六人各馬一疋宛、記名字於札著馬、棟掛物六拾貫文、奴佐絹三、綿一兩、麻苧一兩、檀紙一兩、膝着絹一、善綱絹三、布三、弓絃絹一、棟餅九枚、下鋪布三、瓶子三具、大肴一對、大筒一、小肴出、立時瓶子一双小肴、次葺師酒肴馬一疋、次鍛冶酒肴、鞍置馬一疋、點心新足拾貫文、飯米貳斛、次猿樂三頭各米一俵、馬一疋、次土瓶十六諸方助成、次陞座、次諷經、々々後讀疏。

上棟助成日記

- 立川寺馬一疋 定光寺馬一疋五百文
- 佛陀寺馬一疋 開本首座馬一疋
- 妙忍典座馬一疋 韶麟藏主馬一疋
- 禪鑿藏主馬一疋五百文 明慶大史五百文
- 正果浴主五百文 祖英浴主三百文
- 慶福寺坊主馬一疋 豐田比丘尼五百文

十月十三日。了宗、鳳至郡總持寺塔頭法光院に田地を交付す。

【總持寺文書】 鳳至郡

(端裏書) わたし申つほけ

六三五

わたし申そうぢほらくわういんの田地事

百四十かり さい所大ひのつめ

百廿かり さい所しん三郎つくり

百廿かり さい所れうせんつくり

百かり さい所ほりこし

明源大姊二百文 櫛比殿馬一疋

新井殿馬一疋 阿岸殿馬一疋

竹原殿馬一疋 高山殿馬一疋

仁岸殿馬一疋 了宗馬一疋

幸性馬一疋 道了馬一疋

已上拾八貫文

永徳二年壬戌八月 日記之。

(藏書) 在判